

法経科 (国語)

【一】次の文章を読んで、設問に答えなさい。

海野弘『1914年 100年前から今を考える』より (一部改変)

問1～5 ～ に入れる語を選びなさい。ただし、一度しか使えません。

- 1 子供らしく素朴な
- 2 断乎たる
- 3 うんざりする
- 4 奇跡的ともいえる
- 5 忘れえぬ

問6～10 (6) ～ (10) に入れる語を選びなさい。ただし、一度しか使えません。

- 1 愛国者
- 2 オーストリア人
- 3 コスモポリタン
- 4 自分
- 5 大衆

問11 傍線部A「トウスイ」の「トウ」に該当する漢字を含むものを選びなさい。

- 1 彼の歌はセイトウハダ
- 2 山岳地帯をトウハする
- 3 トウゲイ教室に通う
- 4 コントウザイの芸術
- 5 トウメイドの高い湖

問12 波線部B「道理にかなった」のこの文章における意味として最もふさわしいものを選びなさい。

- 1 社会常識のある
- 2 穏やかな
- 3 勇敢な
- 4 批判的な
- 5 冷静で論理的な

問13 傍線部C「カクイツ」の「カク」に該当する漢字を含むものを選びなさい。

- 1 カク人カク様
- 2 サンカク定規
- 3 キカク書提出
- 4 機構カイカク
- 5 カクシン犯

問14 波線部D「原始的な無意識」を示す語として最もふさわしいものを選びなさい。

- 1 自分の国についての優越感
- 2 古き良き時代を守りたいという気持
- 3 平和への漠然とした期待
- 4 敵国に対する暴力的な感情
- 5 節度のない熱狂

問 15

E

に入る四字熟語として最もふさわしいものを選びなさい。

- 1 起死回生
- 2 絶体絶命
- 3 万死一生
- 4 危機一髪
- 5 一触即発

問 16

F

に入る表現として最もふさわしいものを選びなさい。

- 1 歴史上私たちは常に今を生きてきたのである。過去は過去でしかなく、未来はむろん私たちに責任の負いようがないではないか。
- 2 過去はくりかえすものである。にもかかわらず、過去を封印し、未来に向かって歩むことこそ、私たちに求められる選択肢なのである。
- 3 過去が今にくりかえされなければ、今も未来にくりかえされず、私たちは過去や未来から切り離された今にだけ生きていることになる。
- 4 過去、現在、未来と時間は流れるが、どこかで何かが変化すれば、それは異なる時間軸で私たちが生きていくということになる。
- 5 私たちが過去を反省することで未来は変えられる。言い換えれば、過去を知るために私たちは今を生きているのである。

問 17

20

次の各文が本文の内容に合致していれば1、していなければ2で答えなさい。

- 17 一九一四年よりも一九三九年の開戦時の方が人々は冷静であったが、それは同じことをすでに経験していたからにすぎない。
- 18 百年前の人々は高揚して戦地に赴いただけだったが、今の私たちは戦争の悲惨さを覚えており、危機を回避する方法は少なからず存在する。
- 19 百年前を考えることは今を見つめることであり、歴史に学んで戦争を回避する手段を考察することが私たちには必要だ。
- 20 ツヴァイクがフランスカベルギーに行けと言われたのは、彼が友人たちのように戦争への賛意を示さなかったからである。

【二】次の文章を読んで、設問に答えなさい。

安藤宏『「私」をつくる 近代小説の試み』より（一部改変）

問 21

波線部1～5のうち、他と異なる品詞のものを選びなさい。

問 22

傍線部A「ソウソウ」の「ソウ」に該当する漢字を含むものを選びなさい。

- 1 時期ショウソウ
- 2 活ダンソウ
- 3 顔面ソウハク
- 4 ソウシヨク動物
- 5 キソウ本能

問 23 ～ 27 (23) ～ (27) に入れる語を選びなさい。ただし、一度しか使えません。

- 1 いずれにせよ
- 2 このように
- 3 実は
- 4 たとえば
- 5 もちろん

問 28

B

に入れる表現として最もふさわしいものを選びなさい。

- 1 物語の枠組みを取り払った叙述
- 2 作者が物語に割り込んでくる手法
- 3 物語の枠組みを明確に示した叙述
- 4 作者が物語から撤退した物語
- 5 物語の成立にかかわる物語

問 29

傍線部 C 「人事不省」の意味として最もふさわしいものを選びなさい。

- 1 記憶が不確かなさま
- 2 人間不信に陥っているさま
- 3 昏睡状態になっているさま
- 4 物事の判断ができない精神状態
- 5 仕事に忙殺されているさま

問 30

傍線部 D 「龍頭蛇尾」と同様の意味を示す四字熟語を選びなさい。

- 1 敵前逃亡
- 2 羊頭狗肉
- 3 鶏口牛後
- 4 大山鳴動
- 5 四面楚歌

問 31 ～ 35

31

～

35

に入れる語を選びなさい。ただし、一度しか使えません。

- 1 アイデンティティ
- 2 バイアス
- 3 パフォーマー
- 4 パラドックス
- 5 プロセス

問 36

著者の主張と合致する文を選びなさい。

- 1 「立身出世」の価値が素朴に信じられていた明治日本において、太田豊太郎の選択はまさしく近代国家というものの象徴であり、鷗外はそこに悲劇性を見たのである。
- 2 鷗外は太田豊太郎を「描く私」に設定し、豊太郎が「描かれる私」を消化しきれなかった点を描出し、結果的に明治日本という国家の虚構性を浮き上がらせたのである。
- 3 『舞姫』は「恋愛」と「出世」の間で苦悩する明治の知識人の象徴であると考えられ、そんな男のふがいなさに明治という時代の滑稽さが表現されているのである。
- 4 ヒーローとヒロインが対話をせずに結末を迎えるという点に『舞姫』の特徴があり、それゆえに太田豊太郎は罪の告白という自己語りの王道を避けているのである。
- 5 丹念に読めば太田豊太郎の手記には「出世」を選択した彼の苦悩が綴られている。しかし、真実を描けなかったという点にこそ『舞姫』最大の技法が隠されている。

問 37

文中には「肩すかしもいとところではないか。」という一文が省略されています。

【1】～【5】の中で最もふさわしい箇所を選びなさい。

【三】次の文章を読んで、設問に答えなさい。

「天声人語」 『朝日新聞』二〇一六年五月十八日（一部改変）

問 38 傍線部 A 「三島由紀夫」の作品を選びなさい。

- 1 仮面の告白
- 2 砂の女
- 3 ヴィヨンの妻
- 4 蔵の中
- 5 墮落論

問 39 傍線部 B 「定石」の意味として最もふさわしいものを選びなさい。

- 1 リーダーシップをとる代表者の手法
- 2 まず最初にやる必要があること
- 3 場を和ませる「あ・うん」の呼吸
- 4 物事を処理する決まったやり方
- 5 相手を重んじるように扱うやり方

問 40 C に入れる語として最もふさわしいものを選びなさい。

- 1 物語
- 2 サービス
- 3 受け答え
- 4 流行
- 5 文体

問 41 傍線部 D 「付度（そんたく）」を別の語に置き換えるとして、最もふさわしいものを選びなさい。

- 1 注目
- 2 意見
- 3 配慮
- 4 評価
- 5 推察